

一般社団法人

# 滋賀県介護福祉士会

The Shiga Association of Certified Care Workers

ひろがり

2020. 8

# VOL.087

会員数800名 7月末現在



# 「正しく恐れ」役割を全うする

会長 口村 淳

国内外で新型コロナウイルスが猛威を振るう中、諸外国と比べ日本の介護施設で犠牲者が少ないのは、介護福祉士をはじめとする介護従事者の懸命な努力の賜物といえます。一方で、収束の見込みが立たず、長丁場を覚悟しなければならないことも事実です。こうした状況を踏まえ、これからの介護福祉士の役割について、私の見解を述べさせていただきます。ただし感染症の専門家でもない素人の意見ですので、それを考慮したうえでお目通しください。

最初に申し上げることは、「正しく恐れる」ことの大切さです。新型コロナ対策と聞くと、過剰反応を示しがちではないでしょうか。新型コロナ対策は、従来から行っている感染症対策と大差ないというのが私見です。たとえば、手指消毒、マスク（咳エチケット）や手袋の着用、出勤前の検温、流行期には人込み（密）を避けるなど、今までに受け継がれ、徹底してきた方法と、今回の新型コロナでいわれていることは同じだと思うのです。

「新型コロナは目からうつるから怖い」という人がいます。インフルエンザやノロウイルスでも目（侵入門戸）から感染することは知られています。フェースシールドの使用を否定しませんが、その論理であれば、季節性感染症においてもフェースシールドの重要性を叫ぶべきでしょう。

「新型コロナはワクチン（予防接種）がないから怖い」という人がいます。免疫学の第一人者である宮坂昌之氏は「新型コロナの免疫が続く期間はとても短く、半年程度ではないかと考える」（朝日新聞 7月18日）と述べています。これは予防接種を受けたにもかかわらず、その年のインフルエンザに罹患するのと同じ傾向といえるでしょう。「ワクチンができれば安心」と油断することのほうが危険なのです。

「新型コロナは肺炎を引き起こし死に至る可能性があるから怖い」という人がいます。感染者数の比較は検査のサンプリングが影響するため判断材料としては脆弱ですが、確かな情報である死亡者数で比較すれば、新型コロナが988人（2020年7月22日時点）に対し、2018年のインフルエンザによる死亡者数は3,325人となっています。なぜマスコミはインフルエンザの報道に熱心でないのかが不思議です。人数の多寡がすべてで

はありませんが、時には一步引いて定量的にみることも必要です。毎日ニュースやワイドショーで新型コロナばかり報道されていると、一種の洗脳状態と過剰反応を引き起こす恐れがあるからです。ちなみに2018年の日本人の死因の第5位が（新型コロナと関係のない）「肺炎」であり、94,654人が亡くなっています。（1日に換算すると259人）

こうしたことを見静かに考えると、介護福祉士はこれまでの感染症対策を遂行することが重要であり、新型コロナだけを特別視する必要はないのではないかでしょうか。私は、新型コロナを「恐れる」ことには賛成ですが、過度に恐れることには否定的な立場です。

それは、「差別や偏見」につながる可能性があるからです。最近、発熱症状がみられる利用者を安易に断る事業所が増えていく傾向があるのを耳にします。夏季を迎えると、高齢者の中には、熱中症や脱水症状にともなう発熱がみられるのは周知のとおりです。もちろん、それ以外の要因も考えられます。基礎疾患、生活習慣、家庭環境などを総合的にとらえ判断することが、専門職には求められます。新型コロナが念頭にあると断りたくなる心情は理解できますが、発熱者を一律に切り捨てるようなことは問題ではないでしょうか。

私たち介護福祉士の役割は、介護を通じて日常生活に支障のある人の支援をすることと、その家族の相談にのり介護負担を軽減することにあります。こうした危機的な状況下だからこそ、正しい知識がなければ、「差別や偏見」につながりやすいことを自覚する必要があります。

前述した宮坂氏の見通しでは「ワクチンが出来れば、新型コロナはインフルエンザと同程度の病原体となるが、安くて良いワクチンが出来るのには2年以上かかるだろう。重症化を止める薬ができるば普通の感染症になるが、まだ時間が必要だ」とされています。しばらくの間、新型コロナと共生していくなくてはなりません。しかし、新型コロナの流行により、私たち介護福祉士の感染症予防に対する意識や技術が高まったことも事実です。大切なことは「Never Waste a Good Crisis（この危機を無駄にするな）」（W.チャーチル）ではないでしょうか。



特定非営利活動法人 ほのぼのセンターひなたぼっこ 利用者さんと職員さんの手作り「感染予防アイデアグッズ」のご紹介

# イクメン介護福祉士の紹介

今回、子育てをしながら共働きで働く夫婦について紹介する機会を頂いたので、私の家族・生活についてお話をしたいと思います。私は妻と4歳になる息子、今年2月に生まれたばかりの娘と4人家族です。

就職してから15年が経ちますが、現在地域包括ケア病棟で介護福祉士として働いています。妻は同じ病院で働く看護師で2人共夜勤もしながらフルタイムで働いています。

妻は現在育児休暇中ではありますが、新生児の育児と新型コロナウイルスの影響で保育園も自粛（5月中）となっている中、活発な息子との生活をしています。その中で大変な事はやはり家事です。我が家では、家事担当を決めているわけではなく、基本的に出来る方がする事にしており、片方に負担にならない様、お互いに気にかけて生活をしています。

一番大変だなと思う事は食事です。大人は何でも良くても子供が一緒となれば栄養バランスや好き嫌いがあるため、色々なものをどうやって食べるか考えなければならず、いつも悩みます。仕事が忙しい時は両実家に頼む事もしばしばで、作ったものを分けてもらったり、実家で一緒に食べたりする事もあります。そんな中でも、皆で話す時間を作り、楽しく過ごせる様にしています。この時間は私たち親にとっても子供にとっても祖父母にとっても大切な時間だと思います。その他の家事もどちらか1人に任せることなく、お互いの得意なこと、苦手なこと、体調も考え、「無理して頑張らないこと」を大切にしながら、協力して行っています。

妻の休日には、気分転換に子育て支援センターのイベントに参加したり、友人と遊んだりしています。私は、2人目が生まれ、あまり自由に動き回れない妻に代わり息子と

の2人の時間が増えました。散歩に出かけたり自転車で公園に行ったり、近くの親戚の家を訪ねたりしています。一緒に遊んだり、買い物に行っ



て欲しいものを嬉しそうに選んだり喜ぶ顔が見られ、そんな色々な姿を見ていると、こんなことも出来る様になったんだと成長を実感でき、一緒に来られて良かったと、私自身とても嬉しくなります。お互い夜勤の時やシフトが合わない時は両実家にも沢山協力してもらっています。両親、祖父母で遊び方が様々なため、子供にとってそれぞれ違う良い刺激になっていると思います。娘はまだ生まれたばかりですが、寝ている表情やミルクを頑張って飲んでいる表情、何か伝えようと声を出すところや泣いている表情、笑っている表情、すべてが一生懸命で日々精一杯生きて成長している事がわかります。

私は高校生の時、AVMによる脳出血を発症し、3度の開頭手術、寝たきり・リハビリを経験しています。当然治療は辛い事が本当に多かったですが、その中で出会った医療関係者の皆様、友人、家族、周りの人々のたくさんの温かさに触れ、人の役に立つ事で恩返しがしたい一心でこの仕事を就きました。少々後遺症もあるため、仕事や生活の面で思い悩むこともありますが、これからも周りの協力に感謝しながら、妻と2人お互いに無理せず良いところに目を向け仕事も育児も頑張っていきたいと思います。

市立長浜病院 松橋秀樹

## 災害救援活動ボランティア登録のご案内

災害救援ボランティアは、発災直後行政機関から都道府県介護福祉士会に応援要請を受け、各避難所や福祉施設において、介護福祉士としての知識や技術、実践力等の専門性を活かし被災地の復興、被災された方たちの自立した生活への支援を目標に、寄り添い、心を支える救援・支援活動を行います。

災害はどの地域でも発生する可能性があり、復興においては物資の支援だけでなく、人道的な支援が必要不可欠となります。事前に登録していただくことで、災害における迅速な救援・支援活動を可能にします。

そこで、滋賀県介護福祉士会では、災害発生時に柔軟な調整が出来るよう、多くの方の災害救援ボランティアへのご登録をお待ちしております！

※登録と同時に派遣の制約を求めるものではありません。

### 登録方法

滋賀県介護福祉士会ホームページ

<http://www.shiga-jaccw.jp/form.php>

ボランティア受付



「お問い合わせフォーム」から必要事項の入力を行い、お問い合わせ内容に

「災害救援活動ボランティア登録希望」と明記ください。

※登録方法に関してご不明な点があれば、滋賀県介護福祉士会事務局までお問合せください。

電話受付：平日10:00～12:00 13:00～16:00

電話番号 077-569-5133

メールアドレス : shigakaigo@shiga-jaccw.jp

令和2年度

## 滋賀県介護福祉士会開催予定の主な研修

研修名	開催予定日	日数
★障がい者支援のための研修	10月19日	1日
介護福祉士基本研修	10月22日、10月29日、11月19日、11月26日	4日
★認知症ケア研修	11月16日、11月24日	2日
★介護福祉士受験対策講座（模擬試験）	12月15日	1日
技能実習指導員講習	1月14日	1日
★介護福祉士実習指導者講習会	1月21日、1月28日、2月4日、2月9日	4日

※★印の研修について案内及び申込書を同封しています。

※日程が変更になる場合があります。

※開催予定等は、滋賀県介護福祉士会ホームページに掲載しています。

※開催要項及び参加申込書は、適時、広報誌発送に同封します。



令和元年度研修風景

## 編集後記



今回は新型コロナ感染拡大に関連した内容を掲載させていただきました。困難な状況でも頑張る介護福祉士の姿は、必ず次世代にまで届くことでしょう。いえ、私たちの手で届かせましょう！

表紙の写真は、NPO法人ホームページにご協力をいただきました。9月には新規事業を始められる予定との事です。

これからも、コロナに負けず頑張っていきましょう。

広報編集委員

一般  
社団法人  
**滋賀県介護福祉士会**  
The Shiga Association of Certified Care Workers

〒525-0072  
滋賀県笠山七丁目8番138号  
滋賀県立長寿社会福祉センター内  
TEL:077-569-5133 / FAX:077-569-5173  
E-mail:shigakaigo@shiga-jaccw.jp  
URL:<http://www.shiga-jaccw.jp/>

△スマートフォンは  
こちらから

### 事務局での電話対応時間帯

**☎077-569-5133 (平日のみ)**

10:00 ~ 12:00

13:00 ~ 16:00

\*大変申し訳ありませんが、平日でも研修の対応などで電話をお受けすることができない場合がございます。

お手数ですが、ご用件は、ファックスまたは電子メールでお寄せください。

### 表紙

「デイサービスセンター新海でのレクリエーション～子供と高齢者の交流～」

撮影：堀 重吉